

## ● 2014年度 委員会方針

### 総務政策室

### 地域振興委員会

委員長／五十嵐 慎悟      副委員長／小林 靖広      委員会幹事／紀國 隆介  
委員／緋田 広樹      伊藤 政洋      内山 智彦      加藤 尚孝      佐伯 太郎      咲枝 拓郎  
清水 暢一      二本柳 匡沙子

#### 1. 基本方針

函館を訪れる観光客は平成10年の年間530万人をピークに現在では約450万人と80万人もの減少となっております。しかしながらこれだけの観光客が訪れる函館にとって「観光」とは重要な基幹産業であり、北海道新幹線の開業を契機に再度「観光」について見つめ直すと共に、開業に伴い青函の連携をより強化することで、より活況を醸し出す観光へと繋げていかなければなりません。そのためには地域住民・行政・企業が三位一体となって活動をしていき「観光」という幹をより強大にしていく必要性があります。

まずは、行政が北海道新幹線の開業を前に青函の連携についてどのような計画を持っているのか、そしてこの機会をどのような方法で地域の発展へと繋げていくのかを函館市の観光政策をより正確に把握し行政との意識共有を図ることで、地域住民・行政・企業が同じ方向性を持つことの重要性をこれからの地域の牽引者である青年会議所メンバーに促します。

そして、今後ますます身近になる青函をひとつの観光地として捉え、そこから波及していく新しい魅力がどれほど互いの地域活性化に繋がるのかを地域住民に伝播し、青函の持つ観光の力を再認識してもらうことで、活気に満ち溢れた地域に向けてより強固な青函の連携の重要性を喚起致します。

さらに、活況を醸し出す観光へと繋げるために、これからのあるべき未来ビジョンを地域住民と共に考え、「観光」の重要性を理解していくことで、地域住民一人ひとりが街を創りあげていかなければいけないという主体者意識の醸成を図っていきます。

希望溢れる未来ビジョンを発信することにより地域住民が主体者としての自覚を持ち、地域住民・行政・企業が三位一体となり、大局的な観点から発想していくことが希望に満ち溢れた『真の観光都市』への第一歩となる事を確信し活動して参ります。

#### 2. 事業計画

1. 2月例会の運営
2. 7月例会「宝探し」の運営
3. 10月例会の運営
4. 新入会員の拡大
5. 各委員会及び出向者への協力
6. 各種大会・会議への参加

2014年度 一般社団法人 函館青年会議所 地域振興委員会 年間事業フレーム

1. 2月例会の運営
2. 7月例会「宝探し」の運営
3. 10月例会の運営
4. 新入会員の拡大
5. 各委員会及び出向者への協力
6. 各種大会・会議への参加

事業別作業スケジュール

事業名		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2月例会に関する事業	上程 作業等			協議	審議	実施	報告									
7月例会「宝探し」に関する事業	上程 作業等						協議	協議	審議			実施		報告		
10月例会に関する事業	上程 作業等											協議	審議	実施	報告	
新入会員の拡大	上程 作業等	実施			実施											
各委員会及び出向者への協力	上程 作業等	実施			実施											
各種大会・会議への参加	上程 作業等	実施			実施											